

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	教育総務部 教育施設課
評価シート作成者	課長 関野 達夫

評価対象施策目標（一課かい目標） **11 安全で快適な教育環境をつくる**

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	1 学び合い育ち合う みんなの笑顔がきらめく ひとつづくり
②政策目標	3 次代に向かって教育環境ゆたかなまち
③施策目標	11 安全で快適な教育環境をつくる
④施策の方向性	1 教育施設の整備

2. 施策目標の達成方針

■大規模改修事業の実施
 新設校やこれまでに大規模改修を行った学校との学校間格差をなくすため、「公共施設整備・再編計画」に基づき、大規模改修事業計画にある20校（小学校14校、中学校6校）のうち、平成25年度までに4校の改修を実施し、学校施設の老朽化の防止と長寿命化を図るとともに、良好な教育環境を維持します。

■学校施設の整備及び維持管理
 茅ヶ崎市教育基本計画の施策の方向である「安全で快適な教育環境の充実」を図るため、小学校19校、中学校13校の学校施設維持のため適時適切な整備工事等を実施するとともに、学校施設を良好な状態に維持管理し、児童・生徒が安全かつ快適に学校生活を過ごすことができるよう学校施設のより一層の向上を図ります。

3. 職員配置の状況

（24年3月31日現在）

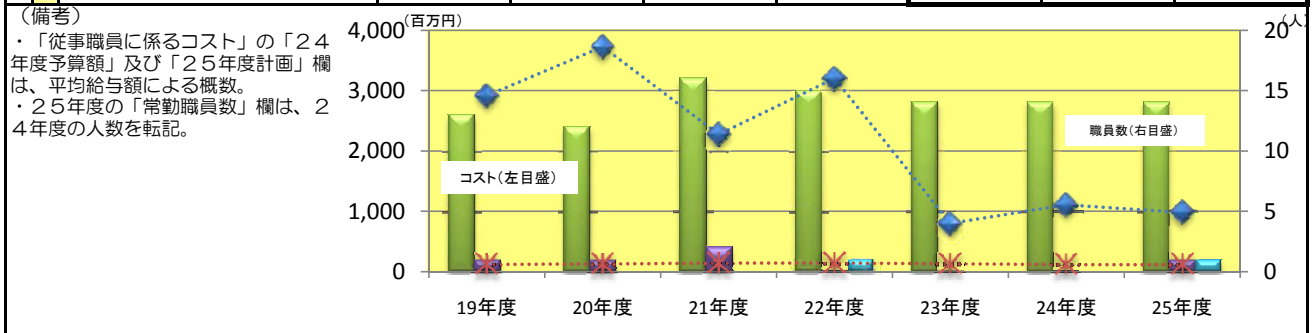
No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数
1		課長	2年 月	16			年 月
2	管理担当	課長補佐A	1年 月	17			年 月
3	管理担当	課長補佐B	2年 月	18			年 月
4	管理担当	副主査	2年 月	19			年 月
5	管理担当	主事	1年 6月	20			年 月
6	施設整備担当	課長補佐A	1年 月	21			年 月
7	施設整備担当	課長補佐B	5年 月	22			年 月
8	施設整備担当	担当主査	年 6月	23			年 月
9	施設整備担当	主査A	8年 月	24			年 月
10	施設整備担当	主査B	1年 月	25			年 月
11	施設整備担当	主査C	2年 月	26			年 月
12	施設整備担当	主任A	3年 6月	27			年 月
13	施設整備担当	主任B	2年 月	28			年 月
14	施設整備担当	主任C	2年 月	29			年 月
15			年 月	30			年 月

職員数計 14名（うち常勤 14名・再任用 名）外 非常勤嘱託 名・臨時 名・その他 名）

4. 施策推進コスト

（単位：事業、職員1人千円/職員数人）

一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	3,039,491	3,859,186	2,420,631	3,346,687	934,055	1,229,858	1,104,789
財源内訳							
特定国庫支出金	667,133	271,618	228,294	513,083	111,239	79,519	7,200
地方債	844,900	1,996,600	1,059,100	1,077,800	186,800	205,000	
その他	1,841	2,000	489,204	844,802	3,293	1,254	68
一般財源	1,525,617	1,588,968	644,033	911,002	819,523	962,285	892,521
事業実施に係るコスト b（折れ線グラフ）	2,915,687	3,727,813	2,274,948	3,200,900	800,342	1,109,458	981,889
うち委託料	100,346	135,853	201,371	127,851	118,964	117,575	85,906
従事職員に係るコスト c（折れ線グラフ）	123,804	131,373	145,683	145,787	133,713	120,400	122,900
常勤職員数（棒グラフ左）	13	12	16	15	14	14	14
再任用職員数（棒グラフ中）	1	1	2	1			
非常勤・臨時等職員数（棒グラフ右）				1			1



5. 施策目標の達成状況

No.	指標名 指標算出式・ 定義等	単位	目標値 実績値 進捗率	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
				現状値	実績値	実績値	見込値	目標値
1	大規模改修事業の進捗 改修校/計画校 (計画校数：小学校14、中学校6)	%	—	—	—	—	20	
			0	10	10	20	20	
			—	—	50.0%	100.0%	100.0%	

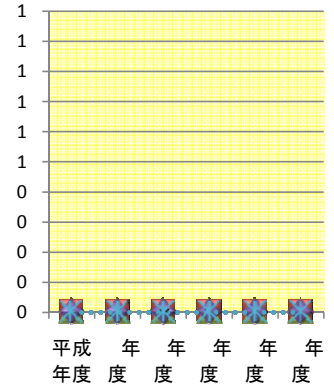
(指標の他団体比較)

(出所)

団体名\年度	平成	年度	年度	年度	年度	年度	年度
●茅ヶ崎市							
■	※学校施設施設整備は、各市で取り組む内容が異なるため、他市との比較はできません。						
▲							
◆							
*							

(指標の進捗状況分析)

計画校20校の内、予定どおり平成21・22年度に小学校2校の改修工事は完了した。平成23年度は、平成24年度から改修を行う小学校2校の設計を行い、この設計では、仮設経費の低減を図るため仮設校舎の建設は行わず、主として夏休み期間中に集中的に工事を行うこととした。



6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No. 事業名(会計区分)	指標名	指標値				
		平成21年度		22年度		23年度
		事業費	決算額	決算額	決算額	予算額
		目標値	実績値	実績値	実績値	目標値
事業概要		現状値	実績値	実績値	—	—
		達成率	—	—	—	—
1 小学校大規模改修整備事業(一般会計)	改修工事実施校数	決 880,949	決 368,375	決 37,956	予 365,500	計 436,492
平成21年3月時点において築年30年を超えた小学校を対象に施設老朽化の防止と長寿命化を図るとともに、良好な教育環境を維持するため、校舎棟の外壁、屋上防水、内装及びトイレ等の改修工事を行います。(実施計画期間内に2校4棟の改修と4校9棟の設計)	棟	—	—	5	2	6
		3	2	5	—	—
		—	—	100.0%	—	—
2 小学校トイレ改修整備事業(一般会計)	トイレ改修の系列数	決 74,083	決 —	決 —	予 —	計 —
小学校のトイレの3K(暗い、臭い、汚い)解消に向けた改修を行い、明るく、快適なトイレ空間を作ります。大規模改修整備事業の中で3系列の改修と7系列の設計を行います。	系列	—	—	4	2	4
		12	2	4	—	—
		—	—	100.0%	—	—
3 小学校施設整備事業(一般会計)	快適、良好な教育環境の整備	決 229,193	決 179,923	決 195,438	予 281,700	計 177,000
学校施設の良好な教育環境を確保するため、各小学校施設の老朽化に応じた、校舎棟の外壁、内装、電気・機械設備及びグラウンド改修などの施設整備工事を行います。	校数	—	—	全小学校(19)	18校	全小学校(19)
		全小学校(18)	全小学校(18)	18校	—	—
		—	—	97.4%	—	—
4 中学校施設整備事業(一般会計)	快適、良好な教育環境の整備	決 152,035	決 114,382	決 114,571	予 122,000	計 116,000
学校施設の良好な教育環境を確保するため、各小学校施設の老朽化に応じた、校舎棟の外壁、内装、電気・機械設備及びグラウンド改修などの施設整備工事を行います。	校数	—	—	全中学校(13)	全中学校(13)	全中学校(13)
		全中学校(13)	全中学校(13)	全中学校(13)	—	—
		—	—	100.0%	—	—
5 小学校特別教室等空調設備設置事業(一般会計)	空調設備の設置校数	決 17,115	決 —	決 88,475	予 9,000	計 —
児童の読書環境の改善や夏の暑さ対策として、小学校の図書室に空調設備を設置し、快適な室内環境を創設します。実施計画期間内に10校を整備していく予定でしたが、県の交付金を活用し、平成23年度に事業を前倒した形で未設置の小学校8校に空調設備を設置しました。	校	—	—	3	2	0
		2	—	8	—	—
		—	—	266.7%	—	—

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

① 施策目標達成に向けた指標の進捗状況	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 大きく遅れている
② これまでの取り組みと成果	<p>25年度目標値達成可能</p> <p>25年度目標値達成困難</p> <p>■教育施設の整備</p> <p>(1)平成7年に発生した阪神淡路大震災以降、児童、生徒の安全確保と地域の防災拠点となる避難所の安全性を高めるため、学校施設の耐震性の確保を緊急の課題として、昭和56年の建築基準法の改正による新耐震基準以前に建てられた学校施設については、事業を前倒しし、平成19年度までに全ての校舎及び屋内運動場の耐震改修工事が完了しています。</p> <p>(2)学校施設整備については、平成22年7月に策定した「公共建築物中長期保全計画」に基づき、施設に不具合が発生する前に修繕を行う、維持保全工事を行っています。この維持保全工事を行うことで、突発的な不具合の予防及び財政負担の軽減や建築物の生涯修繕に掛かる保全コストの縮減とともに、施設の長寿命化を図っています。この施設整備により教育環境の充実が図れ、児童生徒の学習意欲の向上や使い勝手の改善による安全性の確保とともに、維持管理費の削減等改善による成果が見られました。</p> <p>(3)学校施設は、耐震改修工事を優先して進めてきた結果、大規模改修事業等が先送りとなり、先行して整備した学校と新設校との施設面における学校間格差が生じています。そのため、施設整備面における学校間格差の解消と施設の長寿命化を図るため、「公共施設整備・再編計画」に基づき、平成20年度より13年間を対象とする20校の学校施設を集中的に整備する「大規模改修事業」を実施しています。これまで、平成21・22年度の継続事業で実施した浜須賀小学校と柳島小学校の2校の工事が完了し、平成23年度は工事予定の鶴岡小学校と松林小学校の設計を行いました。</p> <p>(4)周辺地域の住環境の急激な変動に伴い、隣接する緑が浜小学校の教室不足の解消と学校規模の適正化を図るため、平成21・22年度に建設した、「夕見台小学校」は、市内19番目の小学校として平成23年4月に開校しています。</p> <p>(5)児童・生徒の熱中症等を予防するため、夏季の暑さ対策として、小中学校の全普通教室に扇風機を設置するとともに、一時避難場所としても活用できる小学校の図書室に空調設備を設置し、教育環境の改善を図りました。</p> <p>(6)学校の校庭芝生化については、芝生化による効果や課題等を検証するため、学校敷地の一部を芝生化しています。平成21年度に茅ヶ崎小学校に敷設し、平成22年度には梅田中学校と浜須賀小学校に芝生化を敷設しています。平成23年度は、芝の生育を進め管理状況や使用状況を把握しながら、モデル実施校へのヒアリングや県内各市の状況調査を実施するなどして検証作業を進めました。</p> <p>(7)平成19年度の都市計画法の改正により、これまで建築行為に係る開発許可の適用除外とされていた学校施設についても、開発許可を受けなければならないとなりました。学校の増改築等に備えるため、学校敷地内にある地目等の整理を行う「学校敷地底地整理事業」を平成20年度より実施し、平成23年度末までに小学校3校、中学校3校が終了しています。</p> <p>(8)大型マンション等の建設による児童生徒数の増加や少人数学級制度の段階的な導入により、特別教室等を普通教室に転用し、教室不足の解消を図ってきました。</p>
③ 課題認識と解決への方策	<p>■教育施設の整備</p> <p>(1)大規模改修整備事業については、多額の工事費が必要となることから、これまで実施していた仮設プレハブ校舎を建設しない工事手法とし、総工事費に占める約25%の仮設経費の削減を図ることができました。</p> <p>(2)学校施設の老朽化に伴い、施設及び設備等に不具合が発生し、修繕や改修が必要となる箇所が年々増加しています。施設の安全性の確保を図るために、効率的かつ効果的な施設整備及び維持管理を今後も継続して行います。</p> <p>(3)学校のトイレについては、3K(暗い、臭い、汚い)が問題となっています。これまで衛生面における環境改善を図り、明るく、快適なトイレ空間を作るため、平成9年度から平成21年度までトイレ改修整備事業を順次進めてきました。しかし、厳しい財政状況の影響により、現状では、平成22年度より大規模改修事業に含めて整備を進めています。しかし、トイレの改修については、児童、生徒、保護者及び各学校の改善要望が最も多く、早期の改善を切望されているため、次期実施計画への事業の位置付けを行い、計画的に整備を進めていく必要があります。</p> <p>(4)地球温暖化等の影響により、今後も夏季は猛暑となることが予想され、学校施設においても、教育環境のさらなる改善が求められています。そのため、暑さ対策として今後も特別教室の図書室と音楽室に早急に空調設備を整備することにより、代替教室や一時避難場所としての活用を図ることができそうです。</p> <p>(5)本市の小・中学校の多くは、昭和42年から昭和62年度頃に建設され、平成39年度から平成50年度をピークに、耐用年数60年を迎える建物が多く発生します。学校の校舎等の老朽化に伴う建て替えについては、現時点で1校当たりの費用が約30億円程度必要となりますが、財源に充てる国・県の十分な補助制度がないため、多額の費用を市費で負担しなければならぬ状況にあります。平成24年4月に国は、公立学校施設の老朽化対策について検討を開始しています。今後も良好な教育環境を維持するために、国・県に対し補助制度創設の要望を行うとともに、可能な限り工事費の軽減を図る施設整備を総合計画後期計画期間の平成30年度を目途に検討を進めます。</p> <p>(6)モデル実施校における芝生化の課題としては、芝刈り、除草、散水等に要する時間が増大したことにより、維持管理上の負担が大きくなっています。この維持管理面の課題を解決するには、PTAや学校開放利用団体及び地域住民等とのよりよい協働体制を模索していくことが必要です。</p> <p>(7)学校敷地底地整理事業については、ここ数年小中学校の中から毎年1校ずつ事業を進めてきましたが、特に小学校は底地の複雑度が高く整理に複数年の時間を要する学校があることから、今後は毎年2校ずつ事業を進めていく必要があります。</p> <p>(8)今後も学校によっては普通教室が不足することが予想されています。そのため、教室不足の解消を図るため、特別教室等の普通教室への転用や転用ができない学校には仮設プレハブ校舎を建設して教室不足の解消を図ります。</p>
④ 議会等からの指摘・要望事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の校庭芝生化について(平成18年度第4回定例会、平成19年第3回定例会、平成20年第1・2回定例会、平成21年第1・4回定例会) ・障害をもつ児童・生徒の利便性が向上するトイレ改修等の取り組みについて(平成21年第1回定例会) ・24年度以降の校舎等「大規模改修事業」の整備手法の検討について(平成23年第1回定例会) ・今後の学校空調設備について(平成23年第1回定例会) ・学校における暑さ対策について(平成23年第3回定例会・市民集会) ・学校の雨水対策について(平成20年第2回定例会・市民集会)

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ)

2,274,948	3,200,900	602,821	1,109,458	981,889
-----------	-----------	---------	-----------	---------

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	1	小学校大規模改修整備事業	重点事業	880,948	441,503	37,956	365,500	436,492
2	一般会計	1	小学校トイレ改修整備事業						
3	一般会計	1	小学校施設整備事業	重点事業	221,982	179,923	195,438	281,700	177,000
4	一般会計	1	中学校敷地底地整理事業	重点事業	3,780		3,798	3,600	5,000
5	一般会計	1	中学校施設整備事業	重点事業	152,034	114,382	114,571	122,000	116,000
6	一般会計	1	学校建設公社の整理に係る事務					57,290	
7	一般会計	1	小学校施設建設基準法第12条の法定点検の実施	重点事業	6,620			17,756	
8	一般会計	1	中学校施設建設基準法第12条の法定点検の実施	重点事業	4,469			11,080	
9	一般会計	1	学校施設使用許可事務						
10	一般会計	1	省エネルギー法に基づくエネルギー管理						
11	一般会計	1	工事の設計及び監理事務						
12	一般会計	1	建築関係講習会参加		147	35	204	149	289
13	一般会計	1	教育施設事務研究協議会参加						
14	一般会計	1	学校施設整備期成会参加		14	7	7	7	7
15	一般会計	1	学校施設整備補助金事務						
16	一般会計	1	施設台帳管理事務						
17	一般会計	1	小学校施設の維持管理		43,669	72,507	37,505	40,944	57,467
18	一般会計	1	小学校施設の保守管理		10,508	13,677	14,325	16,960	193
19	一般会計	1	小学校施設の補修(小規模修繕)		45,629	45,765	53,032	45,986	43,528
20	一般会計	1	小学校敷地の借り上げ		77,987	77,997	77,997	78,302	78,302
21	一般会計	1	中学校施設の維持管理		25,492	26,355	20,057	22,460	31,256
22	一般会計	1	中学校施設の保守管理		6,184	7,516	7,454	9,131	133
23	一般会計	1	中学校施設の補修(小規模修繕)		29,920	30,285	33,659	29,463	28,360
24	一般会計	1	中学校敷地の借り上げ		5,440	5,425	4,906	5,025	5,475
25	一般会計		庁内共通事務		2,549	4,562	1,912	2,105	2,387
26			災害応急対策活動						
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
			振り分け不能額		180,870	19,046			
			小計(イ)		1,698,242	1,038,985	602,821	1,109,458	981,889

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	小・中学校トイレ改修整備事業	74,083		—	—	—
2	一般会計	小学校敷地(一部)芝生敷設モデル事業		2,691	—	—	—
3	一般会計	中学校敷地(一部)芝生敷設モデル事業		2,205	—	—	—
4	一般会計	(仮称)緑が浜第二小学校校舎棟建設工事	502,623	2,157,019	—	—	—
5					—	—	—
6					—	—	—
7					—	—	—
8					—	—	—
9					—	—	—
10					—	—	—
11					—	—	—
12					—	—	—
13					—	—	—
14					—	—	—
15					—	—	—
		小計(ウ)	576,706	2,161,915	—	—	—

(備考)